

事務事業名		地域密着型サービス施設整備費補助金事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		
	施策名	09 地域福祉の充実		区分		
	基本事業名	02 高齢者支援の充実		単年度繰返		
根拠法令		介護保険法		※期間欄に開始年度を記入		
所属	部課名	保健福祉部長寿社会課		【開始年度】		
	課長名	佐々木 卓也		-		
	係名	高齢者福祉係	電話	0192-26-2943		
	担当者	金野 久志	内線	439・440		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分		
介護サービス施設を整備する社会福祉法人等に補助金を交付する事業である。 主な業務は次のとおり。 ①法人等に補助金額内示 ②法人等からの補助金交付申請書受付及び書類審査 ③法人等へ補助金交付決定 ④県へ補助金交付申請 ⑤法人等へ補助金の支払 ⑥県へ実績報告				D 補助金等		
				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
				総投入量 (千円)	国庫支出金	
					都道府県支出金	
					地方債	
					その他	
					一般財源	
					事業費計(A)	0
				正規職員従事人数		
				延べ業務時間		
				人件費計(B)	0	
				トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 認知症高齢者グループホーム新設に係る県への補助金交付申請 (工事完了が令和6年4月に延長になったため、補助金の支払いは令和6年度へ繰越し)	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 社会福祉法人への補助金の支払い	ア 補助金申請件数 件
	イ
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 介護サービス施設を整備する社会福祉法人等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 施設整備を行う社会福祉法人等 法人
	キ
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設整備に係る経費を軽減する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 介護サービス施設が整備される。	サ 施設整備により増える定員(登録)数 人
	シ
	ス

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	41,151	0	48,702	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費	事業費計(A)	千円	0	0	41,151	0	48,702	0	
		正規職員従事人数	人	0	0	1	1	1	0	
		延べ業務時間	時間	0	0	32	32	32	0	
		人件費計(B)	千円	0	0	128	128	128	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	41,279	128	48,830	0	
⑤活動指標	ア	件	-	-	1	1	-	0		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	法人	-	-	1	1	-	0		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	人	-	-	25	18	-	0		
	シ									
	ス									

事務事業ID	1315	事務事業名	地域密着型サービス施設整備費補助金事業
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・岩手県及び大船渡市が規定する補助金交付要綱に基づく事業である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・高齢者の増加とともに介護サービスの需要が増加している。 ・多様な介護サービスの提供が求められている。 ・特別養護老人ホーム等の施設入所待機者数は減少傾向にある。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・施設入所待機者の解消を求める声がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 介護サービスの充実に必要な事業であり、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡市第8期介護保険事業計画に基づく施設整備である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 岩手県及び大船渡市の補助金交付要綱で全種類のサービス施設を対象としており、追加等の必要はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 介護サービス施設の整備により、施設入所待機者の減少につながる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 適正な施設整備ができなくなるにより、安定した介護サービスが提供できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 岩手県の補助金を財源として交付しているため、事業費の増減による一般財源への影響はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) 補助金交付事務であり、委託等には適さないため、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 第三者機関である大船渡市ささえあい長寿推進協議会において、公募した事業者を選考しており、公平性が維持されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	高齢者人口の推移や介護ニーズを的確に把握し、施設サービスが供給過多にならないように、中長期的なビジョンが必要である。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	高齢者人口の推移、介護保険サービスのニーズ等を考慮して、必要な施設の整備を検討する。